

ふれあい情報

2016年 3月16日(水) 第226号

■発行 日本退職者連合

■発行人 菅井義夫

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL 03-5295-0507 FAX03-5295-0541

<e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

<ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

暴走する安倍政権にストップを！ 阿部会長

衆議院京都府3区・北海道5区補選、7月参議院選挙での連合推薦候補必勝へ

2016年度運動方針案づくり始まる

政策・制度要求案(年度要求)、合同専門委員会で検討

第4回 幹事会

八〇万会員に奮闘を訴え

退職者連合は、第二〇回定期総会に向けて三月一日に連合本部で開いた第四回幹事会で、2016年度運動方針原案と同政策・制度要求第一次案を策定しました。両案は、構成組織での検討を経た後、五月の幹事会でまとめられることとなります。また幹事会の冒頭、阿部保吉会長は、参院選挙での連合組織内候補二名の全員当選に向けて退職者連合の推薦状と「祈必勝」と記された為書きを各組織の代表に手渡し、激励しました。幹事会には三役、幹事など四一名が出席しました。

推薦状と為書き手交して激励



▲参議院比例区選挙の連合組織内候補12名に退職者連合の推薦状と為書きを手渡す阿部会長(右から2人目)。またこの日、衆議院京都府3区・北海道第5区補選の2名、参議院選挙区選挙の連合推薦候補35名についても退職者連合の推薦状と為書きを関係地方退職者連合宛で送りました。(3月15日、連合本部3階)

運動・政策で案を策定

幹事会は、2016年度運動方針原案について菅井義夫事務局長が提案。平和と暮らしを守るために安倍政権の暴走をストップさせる取り組みなどが提起されました。

阿部会長は、あいさつの中で四月二四日投票の衆議院京都府三区と北海道五区補欠選挙、七月の参議院選挙に触れ、「安倍政権の暴走をストップさせなければならぬ。安倍政権は、三万円の低年金者給付金の支給など露骨で底の浅い選挙対策に出てきている。ところが本音は社会保障費の抑制だ。選挙が終われば負担増と給付の切り下げが待っている」と危機感を表明。「必要なのは誰もが安心して暮らせる社会づくり。社会保障制度を充実させること。だから何としても衆議院補選と参議院選挙に勝って、暴走を食い止めなければならぬ」と訴え、退職者連合八〇万会員に向けて「退職者連合は、連合推薦候補を全て推薦した。連合と一体で闘い抜こう」と呼びかけました。

また2016年度政策・制度要求第一次案(年度要求)は、この日の幹事会を切り替えて開かれた年金専門委員会と医療・福祉専門委員会の合同会議での検討結果を受けて策定されました。今後、連合との調整を経ることになります。さらに低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求案についても策定されました。

構成組織の意見聴取と連合との調整で仕上げへ

幹事会で決まった三つの案は、五月一〇日までに構成組織で検討され、その後、連合総合政策局と最終摺り合わせを経た後、六月一四日の第六回幹事会で定期総会議案としてまとめ上げられます。

低所得高齢単身女性問題についての学習会開く

互いに学びあい、議論しながら前進しよう (吉沢委員長)

世代を超えた貧困が社会の深刻な問題となってきた中、低所得高齢単身女性の貧困問題に取り組んできた退職者連合は、3月3日(木)午後1時から連合会館3階会議室を会場に「低所得高齢単身女性問題について」と題して学習会を開きました。主催は、男女平等参画委員会(委員長・吉沢弘久副会長)。会場には東京、千葉、神奈川、栃木の近郊をはじめ北海道、兵庫、福岡からも参加があり、このテーマの関心の高さを示しました。120名の参加者でいっぱいの会場からは、9名が発言し、低所得・高齢・単身である自分自身のおかれている厳しい状況の報告などが相次ぎました。



低所得高齢単身女性が日々の暮らしの中で直面している様々な問題と向き合い、その解決のために国や自治体に働きかける政策や運動をどう作っていくのか、こうしたねらいで開かれた学習会は、熊崎清子副委員長(幹事)の司会でスタート。主催者を代表して吉沢委員長は「3回目の開催となった。回を増すごとに参加者が増えている。お互いに学びあい、議論しながら前進させていきたい」とあいさつしました。

続いて連合を代表して連帯あいさつした井上久美枝総合男女平等局長は「現役時代の男女の賃金格差が退職後の低所得につながっている。この課題を連合の政策要求の中にしっかりと盛り込んでいきたい」と話し、連合と退職者連合との連携の必要性を強調しました。

貧困というツケが降りかかっている (宝井)

学習会では野田那智子副事務局長が今回のテーマの背景と課題について提起。続けて菅井義夫事務局長がデータを示しながら「今、社会保障制度が揺らいでいる」と警告。その大きな原因が若者の雇用の劣化にあると指摘しました。

その後、登場した講談師の宝井琴桜さんが、張扇と扇子をたたきながらテーマを親しみやすく工夫した口上を披露。会場から大きな拍手が寄せられました。宝井琴桜さんは、参加者の笑いを誘いながら「家族のため子育てや介護を担ってきた女性。女だからと低賃金に甘んじてきた女性。それが老後に貧困というツケになって身に降りかかっている。低所得高齢単身女性が直面している課題は山積みです。皆で声をあげ、国や地方自治体に届けよう」と訴えました。



熊崎幹事



▲(写真上)会場を埋めた会員のみなさん。男性も多く参加した。(写真下)難しいテーマを分かりやすい口上で演じる宝井琴桜さん。(3月3日、連合会館)



野田副事務局長



菅井事務局長



井上総合局長



吉沢副会長